

事務事業評価表（建設事業等）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

| | | | | | | |
|--------|------------|-------|--------------------|---------|----------|--------|
| 1 事業名 | 新美術考古館整備事業 | | | コード | 111111 | |
| 2 担当部課 | 部等 | 生涯学習課 | 課等 | 文化財・博物館 | 作成者 | 両角 加代子 |
| 3 事業概要 | 目的体系 | 基本目標 | 生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち | | | |
| | | 政策 | 文化・スポーツの振興 | 施策 | 文化・芸術の振興 | |
| | | 予算科目 | 美術考古館管理事業費 | 業務委託 | なし（直営） | |
| | | 実施義務 | なし（選択的事業） | 国県補助 | なし | |

●事業の実施内容（D0）

| | | | | | |
|--|---|-----------------------|------|---------|--|
| 4 事業の概要等 | * 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか） | | | | |
| 事業の概要 （簡潔に） | 移転先である童画館通りの既存施設の改修を進め、11月3日に開館。 | | | | |
| 目的 | 対象者 | 市民及び来館者 | | | |
| | 意図 | 文化を核にしたまちづくりの推進を図るため。 | | | |
| 5 事業の必要性 | * 事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由 | | | | |
| 新美術考古館は、市民が気軽に歴史と芸術に触れることのできる文化芸術の発信拠点として必要な施設であるとともに、まちなかに新たな文化施設を配置し、近隣の文化施設等との有機的な連携により、新たな人の流れと賑わいの創出を図るため整備事業を進め、11月3日に開館 | | | | | |
| 6 事業の全体計画 | * 各年度の取組計画 | | | | |
| 予定全体事業費 | 200,000,000 | 円 | 事業期間 | H24～H25 | |
| 23年度まで | 庁内検討 | | | | |
| 24年度 | 新美術考古館整備計画の策定（移転先の決定）、新美術考古館整備事業の推進 | | | | |
| 25年度 | 施設の改修工事、資料等の移転・展示、11月3日開館、文化を核にしたまちづくりの推進 | | | | |
| 26年度以降 | | | | | |
| 7 事業の実施内容 | * 各年度の進捗状況 | | | | |
| 23年度まで | 新病院の建設予定地が、旧文化センター跡地となったことから、新病院の建設に合わせて、美術考古館の移転先が必要となり、庁内検討を進める。 | | | | |
| 24年度 | 新美術考古館整備計画（案）策定（H24.5月）、移転先施設の財産取得（9月）、プロポーザル審査委員会による設計、施工一括発注（PDB方式）業者の選定（9月）、設計業務（H25.1月） | | | | |
| 25年度 | 施設の改修工事（～8月）、施設内環境調査（9月）、竣工検査（9月）、資料等移転（9月） 展示等開館準備（9月～11月）、開館記念式典・一般公開開始・講演会（11月3日） 開館記念特別企画展「小磯良平版画展」開催（11月3日～12月17日） | | | | |
| 前年度の課題への対応 | 11月3日に開館し、記念事業、特別企画展、記念展示を実施した。 | | | | |

8 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

| 区分 | 23年度まで(累計) | 24年度 | 25年度 | 26年度(予算) |
|--------------|---------------|------------|-------------|----------|
| ① 直接事業費 | 0 | 57,956,802 | 141,932,487 | 0 |
| 経常経費 | | 0 | 0 | 0 |
| 臨時的経費 | | 57,956,802 | 141,932,487 | 0 |
| * 臨時的経費の説明 | | | | |
| ② 人件費 | | 12,000,000 | 8,720,000 | 0 |
| 正規職員の人数(人) | | 1.50 | 1.09 | 0.00 |
| ③ 合計コスト(①+②) | 0 | 69,956,802 | 150,652,487 | 0 |
| 前年度比 | | | 215.4% | 0.0% |
| 財源 | | | | |
| 一般財源 | 0 | 69,956,802 | 140,652,487 | 0 |
| 内訳 | | | 10,000,000 | |
| * 特定財源の説明 | 社会教育施設整備基金繰入金 | | | |

●事業の評価 (CHECK)

9 事業の進捗状況

| 区分 | 23年度まで(累計) | 24年度 | 25年度 | 26年度(予算) |
|--------------|------------|-------|-------|----------|
| 進捗率 | | | | |
| 直接事業費の執行率 | 0.0% | 29.0% | 99.9% | |
| その他の進捗率 | | | | |
| * その他の進捗率の説明 | | | | |

| | | |
|-------------|-----|--|
| 事業をとりまく環境変化 | 今まで | <p>(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと)</p> <p>長い歴史を持つ美術考古館は、郷土に根ざした芸術文化の発信施設として、本町の施設で市民に親しまれてきたが、新病院建設事業に伴い、童画館通りへと移転することとし、既存店舗からの改修による新たな施設として開館した。</p> |
| | 今後 | <p>(26年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること)</p> <p>移転により、新たな施設として管理・運営していく上で、従来の社会教育施設としての役割に加え、まちなかの賑わいの創出を図ることのできる、新たな文化の拠点としての役割を果たしていく必要がある。</p> <p>近隣の公共施設と連携を深め、文化を核にしたまちづくりを推進する拠点施設の1つとして事業を進め、まちなかの回遊性を高めていく必要がある。</p> |

●改善の内容 (ACTION)

10 今後の課題と対応策

| | |
|---------|---|
| 今後の課題 | <p>(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、26年度以降に課題になること)</p> <p>管理・運営の効率性を高めるためには、指定管理者制度への移行も検討する必要がある。まちなかの回遊性を高めるために、施設としての魅力を高める必要がある。</p> |
| 課題への対応策 | <p>(上記の課題をふまえて26年度に実施する、具体的な対応方法)</p> <p>工夫とアイデアにより、様々な展示やイベント・ワークショップを開催し、集客力を高める。平成28年度の指定管理者の選定替えの時期までに、庁内会議を進める。</p> |

●次年度の計画 (PLAN)

| | | | |
|-----------|----------|---|----|
| 11 次年度の方針 | 25年度末で完了 | 12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること | 完了 |
|-----------|----------|---|----|